

タイトル：2021年度 教育セミナー（第17回）

日時：2021年9月16日（木）～19日（日）

オンライン開催

「17世紀イスタンブルにおける政治構造の変容—オスマン2世の廃位事件の事例から」
牟田 海人（九州大学大学院人文科学府）

今年度は昨年に引き続きオンライン開催ということで、例年とは違う形態での開催のため、セミナー運営については大変なこともあったと思われませんが、セミナー全体としては非常に満足のいくものであったように感じました。私は今回このセミナーに初めて参加しましたが、受講生の方々には私と同様に初めて参加されていた方も多く、また年齢の近い方も多かったため、すぐに打ち解けることができました。

4日間の間のご発表も大変興味深く拝聴させていただきましたが、特に普段あまり聞く機会がない歴史学以外の分野の発表は、私とはかなり異なる視点で検討・分析をしており、参考にできることも多く、自身のイスラームや研究に対する見識や視野を広げる大変良い機会となりました。

また、私自身は3日目に発表させて頂きましたが、学外での発表は初めての経験でしたので、とても貴重な経験になりました。発表中は非常に緊張してしまい、かなり駆け足で話してしまいましたが、そんな私の至らない発表でも皆様はしっかりと聞いてくださっていて、今後の研究において大変役立つ質問や指摘を数多く頂戴することができ、とても嬉しかったです。特にオスマン史を専門分野とする高松先生からは、史料や研究方法などについて数多くのことをご指摘・ご教授頂き、大変勉強になりました。

最後にこれから教育セミナーに参加することをご検討されている方々のために、私が本セミナーに参加して特に良かったことについて述べたいと思います。

1つ目は自分と同じように研究をしている方々との交流関係を作ることができたことです。今回は、各日の最後にオンライン上で参加者の方々が任意で集まって話すことができる場を設けていただき、他大学の方々と話すことができました。

2つ目は発表することができたことです。発表するかどうかは任意ですが、迷っているようでしたら発表することをお勧めします。発表することで貴重なアドバイスもいただけますし、何より将来学会等での発表を予定している方々にとっては、非常に良い練習になると思います。

3つ目は著名な先生方にお話を伺ったり、ご発表を聴くことができたことです。本教育セミナーには、例年著名な先生方が数多く参加されており、1日目の情報交換会ではそのような先生方からお話を伺うことができました。また、そのような先生方のご発表を聴くことができるというのも、貴重な機会であると思います。

もし私が紹介した内容に魅力を感じたら、是非気軽に参加してみてください。

貴重な場を設けてくださった職員の皆様、セミナーの連絡をくださった事務局の千葉様、私の発表にご質問・ご指摘をくださった先生方並びに受講生の皆様に深く御礼申し上げます。